

(別紙) 応募用紙「土木広報大賞 2021」

団体名：元気丸（株式会社オフィスまめかな）			
応募部門 (複数選択可)	☒ イベント部門	☒ 映像・メディア部門	☐ 広報ツール・アイテム部門
	☐ 教育・教材部門	☐ 商業広告部門	☒ 企画部門
土木広報活動または作品名：土木広報大使「元気丸」による土木漫才での活動及び YouTube「元気丸チャンネル」			
広報活動または作品の概要 「元気丸」は呉工業高等専門学校の実験都市工学科で出会い、その後同じ建設会社に勤め施工管理に従事していた二人が退職し結成したお笑いコンビで 2014 年 2 月結成（株式会社オフィスまめかな所属）。結成後しばらくして漫才のスタイルを模索していたところ、二人とも 2 級土木施工管理技士などの土木に関する資格を有している変わり種コンビであることに気づき「土木」をテーマにした漫才を発案。 以降、ネタの生み出しやすさ、他漫才師との差別化が図れたことから『土木漫才』を自称し、若手お笑いライブや演芸会などで活動を展開中。 土木×漫才でお世話になった土木業界の面白さを発信している。 受賞歴など：2020 年 11 月 18 日に土木学会広報センターより『土木広報大使』を委嘱 デミーとマツ土木広報大賞 2020 特別賞受賞 付属資料① 所属事務所プロフィールリンク ・土木漫才とは 二人の学生、会社員時代の経験や知識を踏まえ、「もし土木従事者が〇〇の職業をしたら」（例：レストランの店員、医者など）、「土木を知ってもらうには〇〇とコラボしたら良いのでは？」（例：宝塚歌劇団、EXILE、料理番組など）を題材に工事現場のあるあるや、土木知識が強すぎるが故の勘違いを展開していく漫才。 付属資料② 「オール土木ネタの個性派芸人」元気丸 Full.ver（2020 年 4 月 22 日放送ドボラジ／中央エフエム） ちなみに土木学会の YouTube チャンネル「土木学会 tv」において 2021.10.31 時点で視聴回数は 1 位 の模様！ 2021.8.27 にはネタすべて「土木漫才」の単独ライブを開催。 アンケートにも「オール土木ネタ面白かったです。お仕事シリーズは鉄板です。」という回答があったり Twitter にも来場者の方が感想を上げて下さっていました（図 2）。			

図 1 二人の配布する名刺の裏側

図 2 Twitter に投稿されていた感想

広報活動または作品の効果

・YouTube での活動

自分たちのできる土木広報として YouTube チャンネルを開設し、100 均にあるものを使用してセオドライトを自作し測量してみる企画や、街中を歩いて一般の人が気づかないような土木にまつわるものを探す散歩企画をアップロードしている。

昨今のコロナ禍において外出を自粛しなければいけない中、Google アースを使用した、自宅で土木遺産を楽しめる企画「自宅でインフラツーリズム」を提案。

付属資料② おうちでインフラツーリズム part2~音戸第二大橋から自分たちの造った送電鉄塔~



おうちでインフラツーリズム part1

図 3 「おうちでインフラツーリズム」の一コマ



【土木芸人 元気丸】自作セオドライトで測量してみた！

図 4 「自作セオドライトで測量してみた」の一コマ



小さい土木見つけた



小さい土木見つけた

図 5 「小さい土木見つけた」の一コマ

・活動を通しての効果

お笑いライブや演芸会を通し、土木従事者はもちろん、土木のことを知らない若い世代からは「初めて聞いた専門用語もなんとなく理解できて笑えた！」などという声も多数いただいている。よって、漫才を通して土木の面白さをアピールすることにより色んな世代の人たちに「土木」への興味を持っていただいている。

今後も《土木を知らなくても面白い、土木を知っていたらもっと面白い》ネタを作り演芸業界、土木業界の内外に発信し続けていく。



図 6 土木従事者の方のツイート

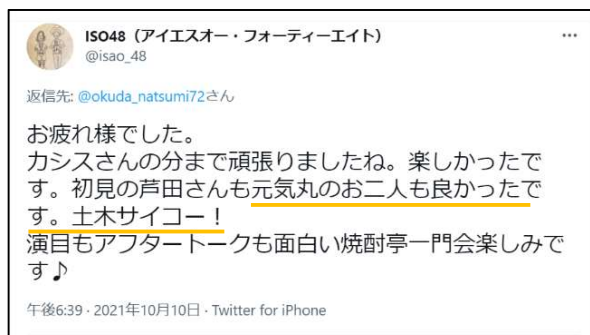


図 7 「土木漫才」初見の方のツイート